

消費者政策と福祉政策の現場の連携の在り方 ～福祉共創社会の構築を目指して～

高齢化等の社会経済の変化に応じ、消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）の設置や重層的支援体制整備事業の実施など、消費者政策及び福祉政策における取組が進められている。

両者に関する実務担当者からの基調報告と意見交換によって議論を深め、福祉共創社会の構築の一助となることを目的として、本シンポジウムを開催する。

日時 ⇒ **2025年2月11日（火・祝） 14:00～16:00**

開催方法 ⇒ ハイフレックス形式（参加費無料）

会場 ⇒ **オンライン**：Zoomウェビナー

対面：昭和女子大学 8号館6階オーロラホール

東京都世田谷区太子堂1丁目7-57

（東急田園都市線（半蔵門線直通）三軒茶屋駅下車 徒歩7分）

申込方法 ⇒ 申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください ➡

<https://forms.gle/sb9svGYTUdwBR6Uq5>



プログラム

司会：加納克利 昭和女子大学 教授

◆基調報告 消費者安全地域協議会の現状と課題

山本 竜大 消費者庁 地方協力課

◆パネルディスカッション

消費者政策と福祉政策との連携の在り方について

*パネリスト

山本 祥子 社会福祉法人菅生会 はるよしケアプランセンター 主任介護支援専門員

生水 裕美 一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 理事

阿部 絢美 毎日新聞記者

平林 有里子 消費者庁 地方協力課

*コーディネーター

加納 克利 昭和女子大学 教授

◆コメント 高橋 学 昭和女子大学 教授

◆質疑応答

【お問い合わせ先】

昭和女子大学大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻

Mail : exam-senfuku@swu.ac.jp

